

第8回

[29年度]

## 德育推進フォーラム

平成29年9月30日(土)

(於) 佐世保市体育文化館コミュニティセンター



江戸しぐさ伝承普及員  
宮崎 牧子

佐世保の皆様、江戸しぐさの話をお聴きいただき、また「一期一会」のおつきあいをしていただき本当に有難うございました。

江戸時代の江戸の町方の心映え、いわゆる思いやり、やさしさの心を行動にする大切さを易しく説いている江戸しぐさ。既に一徳運動として学校、家庭、職場、地域で実践されているこの地こそ江戸しぐさが似合う街です。

「草主人従」や「尊異論」等の基本的な教えは変えないで今の時代に合った心が温まるすてきな「思草」をたくさん創り出してみられませんか。

大人と子どもみんなで見たり聴いたり話したり考えたり「お心肥やし」の時間を共有して、佐世保しぐさに進化させたらどうでしょう？

そしてこの「佐世保しぐさ」が皆様の日々の暮らしやこれから的人生に生かされると佐世保から長崎県全体へと豊かで美しい社会が広がるのではないかと思うのです。未来の佐世保のリーダー達が生きやすい世の中になりますように皆で力尽くしてまいりましょう。

会員代表

佐世保德育推進会議会員  
(佐世保市保育会会員) 花城 千尋



フォーラムに参加させていただき、私自身が德育を改めて考えるきっかけとなりました。

子ども達に言葉や姿勢で德育を伝えていくよう、大人が見本を示さないといけないという責任を感じています。

德育とは、相手のことを思いやることによってみんなが気持ちよく、社会生活を送ることができるよう子どもから大人までみんなが大切にしたい取り組みです。

「德育」というと難しくとつづきにくい印象をもたれるかもしれません、まずみんなで「挨拶」を見直すことによって德育を考えるきっかけにしてみませんか？日ごろ、家族で挨拶していますか？職場や学校では挨拶をしていても、地域ではどうでしょう？

する人もされた人も気持ちの良い「挨拶」。まずは私たち大人から声をかけてみましょう。一人ひとりの心がけ、小さな取り組みの積み重ねで、みんなが気持ちよく過ごせる社会を作りたいですね。

会員代表

佐世保德育推進会議会員  
(佐世保市PTA連合会副会長) 岩田 雄次郎



今回、PTA代表としてフォーラム座談会の登壇をお願いされたのですが、「古き良き日本」の習慣が失われてきているという印象とはちょっと違う話をさせていただきました。フォーラム直前まで3週間の海外出張だったのですが、その時に20代のアメリカの方が話してくれたのは、街を歩いただけで日本と海外との違いを感じるという事でした。その方が言うには、日本で街を歩くと、相手に対する気遣いからか、みんな自然とよけてくれるためぶつかることは無いが、同じアジア諸国でも、平気でぶつかってくる國もあるとの事。まさに、今回の「江戸しぐさ」のお話しにもあった、「傘かしげ」にも見られる『相手を思う行動』ではないかと感じました。最近のPTAの印象はと聞くと、いじめやモンスター・ペアレンツというマイナスイメージを思い浮かべる人も多いのではないかと思いますが、このような話を聞くと『まだまだ日本も捨てたものではない』と日本人であることを誇りに思うほど嬉しく思いました。もしかすると、失われてきているものはあるにせよ、時代の変化に対応しながら「古き良き日本」の習慣はまだ残っているのかもしれないという希望の光を、今回のフォーラムを通じて他の登壇者や会場の皆さんと共有することができ、この様な機会を与えて頂いたことに感謝した次第です。



子どもに伝える大人の德育  
江戸しぐさに学ぶ思いやり



学生代表

長崎国際大学4年 桑江 良樹



今回「德育推進フォーラム」に、座談会の登壇者として参加する機会を頂きまして心より感謝申し上げます。

相手を思いやるしぐさや行動は常日頃から心がけているつもりでしたが、この度の講演を聞き、改めて振り返ったとき「本当に実践できているのか」と自信が持てませんでした。実践しているつもりでも習慣として身に付けていかなければ、意識が薄れていき、率先して行動に移すことは難しくなります。定期的に自身の行動を振り返ることは徳を高めるうえで必要なことです。しかし、振り返ったときや即座に判断しなければならない状況においてどんな行動が善く、どんな行動が悪いのかを見極めることができなければ、徳を高めるすることは難しいです。ではその善悪を判断する力はどうにして身に付けることが出来るのでしょうか。私は過去の体験や見たり聞いたりして得た体験からだと思います。これまでに培われた経験から道徳的な行いやその場に合った行動、さらには相手の気持ちまで判断し、考え方行動することが出来るのではないかでしょうか。つまり「德育」によって幼いころから徳を学び、体験することで徳に関する知識や経験を豊かにし、道徳的な行動を心掛け率先して実行する大人に成長していくことです。

私も反省を忘れず、徳のある大人になれるよう日々の経験を大切に積み重ねていきたいと思います。

学生代表

長崎国際大学3年 末次 可奈



初めに、第8回「德育推進フォーラム」におきまして、座談会での登壇者の一人として参加する機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

私の在籍する長崎国際大学では、「いつも、人から。そして、心から」という標語のもと人間尊重の理念を掲げています。これを実現するに当たり、ホスピタリティ精神を全学生が体現的に学ぶ方法の一つとして茶道文化を設けてあります。茶道の授業では薄茶・濃茶点前等、単にお点前をするのではなく、禅語や茶花の意味を理解することを通じて目配り・気配りができる人間形成を担います。そしてそれが、相手を慮る心遣いに通じてお点前に於いての感動を創りだすことになります。さらに、そこでの学びは日常のあらゆる所に所作として現れます。

講演講師としてお越しいただいた宮崎先生は、「江戸しぐさ」は連鎖するとおっしゃられました。大人とも子どもともとれる私たち大学生が思いやりの心を育み、日常に反映するという環境こそが德育の輪を広げる一つの手立てだと感じました。

茶道文化の可能性が垣間見られるとともに、この環境に感謝しながら私自身も茶道文化に携わっている者の一人として、さらに德育の輪を広げる発信者として、それを改めて考え方社会に貢献できるよう努めていきたいと思います。

## まとめ

佐世保德育推進会議会長 木村 勝彦

今回の座談会は「江戸しぐさに学ぶ思いやり」という内容で、基調講演の宮崎牧子先生と4人の登壇者の方々によるフリートークセッションというかたちで行われました。江戸時代の人々があえて意識することなく実践していた何気ないしぐさ、たとえば「傘かしげ」「肩引き」「かに歩き」「こぶし腰浮かせ」「うかつあやまり」などのうちにどのような思いが込められていたのかという宮崎先生のお話を手掛かりに、私たちの日常生活の中における気づきや課題を自由に語り合っていただき、進行役としても充実した座談会になったのではないかと思っております。

德育は私たちの日常生活における身近な問題として、さまざまな人間関係のなかの具体的な言葉遣いや行動から問い合わせられなければなりません。かつての日本人が人間としての思いやりややさしさを素朴なかたちで表現していた「しぐさ」を考え直してみると、インターネットやSNSが幅を利かせる情報万能社会となって、人間同士の顔が見えにくくなっている現代だからこそ、極めて大きな意義を有しているように思われます。江戸しぐさの根底にあったという「お心肥やし」という考え方方は、德育推進の問題意識にも通じているのではないかでしょうか。



〈あいさつ〉  
朝長則男市長



〈マナー講座〉  
大鳥居祥子講師



〈佐世保市歌合唱〉  
佐世保工商会議所女性会・ぼっぽ保護学院園児



〈入選作品紹介〉  
佐世保市PTA連合会会長代理  
岩田雄次郎

### ●講演・座談会についてお答えください。

- 心をみがく、育てるの大切さを学びました。身近な事から、自分でできることから始めてみようと思いました。（複数）
- 講演がとても具体的でとても分かりやすかったと思います。（複数）
- 講演と座談会が一つのテーマにつながっていて、深まりがありました。
- 座談会のメンバーが立場や年齢の異なる人だったので、新しい発見がありました。（複数）

9月30日(土)500名が参加して  
開催された德育推進フォーラム。  
皆様からいただいた感想の一部を  
掲載いたします。

### ●「德育推進フォーラム」や、今後の德育推進についてのご意見をお聞かせください。

- 「德育推進フォーラム」は、もちろん、德育推進について県内で唯一市政に盛り込み取り組んでいることについて、もっと市民に宣伝するべきだ、そのための新たな取り組みについて検討が必要ではないか？
- 德育がなくなってきてている大きな原因是、「近所づきあいがほとんどないこと」だと思う。一人一人の顔が分かる地域づきあいが德育の推進につながると感じた。

子どもの頃、母から「徳を積みなさい」父から「名前を呼ばれたら返事をする」と同時に一步踏み出せるように身構えするように」と言われ、大人になって役に立っています。やはり親・大人が子どもに伝えるべきだと思っています。  
徳は目に見えない心のことかと思っていたましたが、そうでなく生活のそれぞれの場であいさつや人のふれあいの中で見えるもの、きこえるものだと気づかされました。

## あなたの聞いて徳する話募集します!!

広報させぼ「德育通信」コーナーから、あなたが身の周りで見つけたり感じたりした「聞いたら心が温まる話」を募集します！

日常のほんの小さなうれしい出来事や、ぜひ皆さんに聞いてほしい德育に関するお話など、あなたの“聞いて「徳」する話”お聞かせください！

採用された方のお話は、広報させぼ「德育通信」コーナーに随時掲載させていただきます。

### 応募方法

応募用紙に必要事項と400字以内のお話を書き込み、佐世保德育推進会議事務局宛にお送りください。FAX・E-mailでのご応募も受け付けております。また、ご質問・ご感想等もお待ちしております。応募用紙は佐世保德育推進会議事務局ほか、佐世保市のHP、社会教育課で配布しております。

### ご不明な点はお気軽にお質問ください。

**佐世保德育推進会議事務局**

TEL/FAX (0956) 23-2856

E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp